



# いわき

意和氣の力と心でチャレンジ!

Chance Change Charge Challenge

由利本荘市立岩城中学校

No. 27

平成29年9月14日

## 教科等訪問

9月8日(金)に教科等訪問があり、特定授業として1年A組:社会、2年A組:特別活動の授業研究会と一般授業をみていただき指導をいただきました。指導の先生は、社会が中央教育事務所指導主事津島穰先生、特別活動と全体指導が中央教育事務所由利出張所指導主事倉田和人先生です。

「意和氣の力と心でチャレンジ」のスローガンに向かって生き生きと活動している。学ぶ喜びについて全員同じベクトルで取り組んでいる。生徒が落ち着いて学習している…等々お褒めの言葉と共に、より高い学びへと課題もいただきました。今回の訪問で得たことをもとにさらに研修を深めていきたいと思います。

### 【(特定授業) 第1学年A組 社会科】

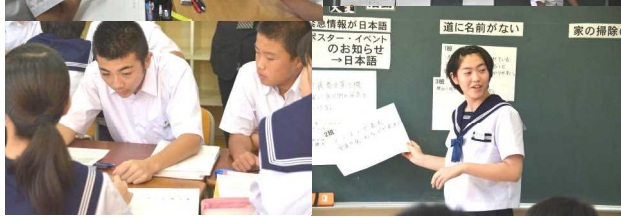
単元名:「人々の生活と環境」

授業者:阿部一雄

ねらい:「生まれや育ちによって文化が異なることに気付き、異文化理解の態度を養うことができる。」

《社会事象への関心・意欲・態度》

「ALTの経験談から、文化の違いに気付き、異文化の人と共に暮らすために何ができるかを考えることができる。」《社会的な思考・判断・表現》



### 【(特定授業) 第2学年A組 特別活動】

題材名:「学校生活を見直そう」

授業者:齊藤一生

ねらい:「自問清掃に対する自己や学級の課題を挙げ、その改善方法を提案することができる。《集団や社会の一員としての思考・判断・実践》



### 【(一般授業) 第1学年A組 国語科】

題材名:「星の花が降るころに」

授業者:太田静子

ねらい:「冒頭と最後の『銀木屋』の違いを読み取り、主人公の心情の変化について説明することができる。」



### 【(一般授業) 第2学年A組 英語科】

単元名:「Program5 Gulliver's Travels」

授業者:佐々木綾子 Brianna Hom

ねらい:「接続詞ifを用いて、自分の意見や考えを伝え合おう。」



### 【(一般授業) 第2学年B組 国語科】

題材名:「盆土産」

授業者:遠藤 操

ねらい:「作品に描かれている『優しさ』や『温かさ』を具体的な語句に着目して捉え、読み味わうことができる。」

【(一般授業) 第3学年ABC組 数学科】

单元名:「二次方程式」

授業者: 粕谷道明 加藤 諒 佐藤美香  
佐々木裕治 佐藤雅子

ねらい:「具体的な問題を、二次方程式を利用して解決することができる。」



## 岩中生の活躍

### 第33回 西目健康マラソン

平成29年9月3日

【3kmコース 中学生 男子】

#### 第1位

佐々木 琢斗

(3年)

記録 1分21秒3



### 第45回 由利本荘市科学作品展

【優秀賞】

2年 佐々木李紗 清野あさひ

【優良賞】

2年 金森 敦樹

### 全日本剣道連盟剣道段位合格

【二段】

3年 徳山 志道 柴田 洸太

伊藤 愛華 吉田 晴香

芦澤 舞 佐藤ひなた

新妻 未梨

【初段】

2年 岡野 龍威

## 第36回 JOC全日本 ジュニアバドミントン選手権大会

2年生の今野有理さんが、9月15日(金)～18日(月:祝)、会場 ALSOKぐんまアリーナ・サブアリーナにおいて行われる、第36回JOC全日本ジュニアバドミントン選手権大会の中学2年生以下がエントリーする試合に、秋田県代表として出場します。初戦は京都代表選手とだそうです。健闘を祈ります。

## 教育実習生来校



本校卒業生で北海道大学教育学部4回生の三浦詩歩さんが、9月11日(月)から9月29日(金)までの3週間、母校である本校で教育実習を行います。

三浦先生は、7年前までの3年間は本校に在学していたわけですが、岩中の3本柱で育った三浦先生(先輩)と時間を共有できることはお互いに幸せなことです。そして、中学校の時の担任の先生である齊藤一生先生も本校に在職していて、今回指導教官になるという縁の巡り合わせは何ともいえませんね。

一生先生の2年A組に所属して、主に社会の授業を中心に実習します。また、吹奏楽部に所属していたということですので、吹奏楽部でも指導していただくこともあると思います。よろしくお願いします。

## ホッコリする話…

前号では気分のいい話ということで紹介しましたが、また気分のいい話がありました。「ホッコリする話」として紹介します。5月31日にも同様のお電話をいただいております。

新屋高校の小園教頭先生から電話がありました。本日(13日)午前7時少し前頃、本荘から秋田方面へ向かう高速道路を岩城ICで降り、国道7号線との交差点付近の横断道路での出来事だそうです。国道へ入るため、信号で待っていたところ、自転車に乗っていた女子生徒二人が、自転車を降りて運転手(小園教頭先生)にむかってお辞儀をしてから渡ったということです。学校での指導が徹底していると感じ、とても気持ちがよかったとのことで、是非紹介してくださいとのことでした。

わざわざ電話で教えてくださるということは、本当に気分がよかったのだと思います。本校生徒の行動により、他の人たちの心をホッコリとした気分させてあげているというのはとても嬉しいことです。岩中生としての誇りです。

あいさつ(声でのあいさつ、お辞儀、返事等)は人と人との心を結ぶ魔法の言葉とはよくいったものです。あいさつ、返事、お辞儀等々…は、ちょっとしたことなのですが、魔法にもなり得るのです。身に付けたいものです。

(いまだ、体育着等落とし物の決着はついていませんが…)